



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ビジョン
コード番号 9416 URL <https://www.vision-net.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 健一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員管理本部長 (氏名) 中本 新一 (TEL) 03-5325-0344
四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	13,177	19.4	1,539	43.1	1,540	47.4	1,039	51.9
28年12月期第3四半期	11,035	19.9	1,075	59.0	1,045	43.7	683	29.9

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 1,056百万円(76.7%) 28年12月期第3四半期 597百万円(28.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	63.89	62.46
28年12月期第3四半期	42.12	41.65

(注) 当社は平成29年5月16日開催の取締役会決議に基づき、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	11,095	8,387	75.6
28年12月期	9,935	7,312	73.6

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 8,387百万円 28年12月期 7,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—		
29年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,713	12.6	1,606	24.5	1,608	23.9	1,045	28.5	64.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成29年5月16日開催の取締役会決議に基づき、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年12月期3Q	16,278,000株	28年12月期	16,237,400株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	756株	28年12月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年12月期3Q	16,266,073株	28年12月期3Q	16,237,400株

(注) 当社は平成29年5月16日開催の取締役会決議に基づき、平成29年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財務状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想など将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調が続いており、雇用・所得環境の改善が続く中、先行きについても各種政策の効果もあり緩やかに回復していくことが期待されております。一方で、海外経済においても、緩やかに回復しておりますが、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「世の中の情報通信産業革命に貢献します。」を経営理念に掲げ、お客様や世の中が困っていること（課題）を事業領域と捉え、グループメンバーが団結しスピード感をもって積極的な事業活動を行なってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は13,177百万円（前年同期比19.4%増）となりました。利益面では、増収効果に加えて継続的な原価率の改善及び業務効率化への取り組みにより営業利益は1,539百万円（前年同期比43.1%増）、経常利益は1,540百万円（前年同期比47.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,039百万円（前年同期比51.9%増）となりました。

当社グループの報告セグメントは、「グローバルW i F i 事業」及び「情報通信サービス事業」の計2セグメントでの報告となっております。各区分における概況は以下のとおりです。

「グローバルW i F i 事業」

第3四半期連結会計期間におきましては、夏季休暇シーズンを迎え、旅行需要が高まりモバイルW i F i ルーターのレンタル件数が増加する繁忙期となっております。日本政府観光局公表の推計値では、当第3四半期連結会計期間における日本から海外への渡航者は499万人（前年同期比3.9%増）、訪日外国人は743万人（前年同期比18.8%増）となりました。特に、訪日外国人数は、当第3四半期連結会計期間の各月においてそれぞれ過去最高を記録しております。このように好調な市場環境を背景に各販売チャネルにおける新規獲得及びリピート利用のレンタル件数は増加し、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,755百万円（前年同期比33.5%増）となりました。セグメント利益は、増収効果に加えて、継続的な通信原価とオペレーションの改善施策の実施により収益性は向上し1,368百万円（前年同期比53.0%増）となりました。

また、レンタル件数の増加に伴う費用増加を抑制すべく、継続して以下の取り組みを実施しております。

通信原価の低減

- ・ボリュームディスカウントによる仕入条件の改善（通信料金の単価引下げ及び独自条件での契約等）。
- ・クラウド上でS I Mを管理する次世代型の通信技術の活用。
- ・精度の高い受注予測による余剰在庫（回線含む）の削減。

オペレーションの改善

- ・A I（人工知能）を活用したお問合せ対策によるコールセンター費用の抑制。
- ・スマートピックアップ（自動受渡しロッカー）及びスマートエントリー（セルフレジK I O S K端末）の活用並びに設置場所増設（カウンターコストの低減）。カウンター窓口の稼働率向上によりオプションサービス等の付帯率の向上。

海外渡航中の課題を解決したり、“あったらいいな”を叶える旅行関連サービスプラットフォームの拡充、サービスの利便性、及び認知度向上へ向けて以下の取り組みを進めております。

- ・通信規格4 G - L T E及び大容量プラン等の提供エリア拡充。
- ・ウェアラブル翻訳デバイス「i l i（イリー）」対応言語追加（韓国語）。
- ・利用毎の申込・受取返却手続き不要（社内に常備）、安価で利便性の高い法人限定プラン「グローバルW i F i f o r B i z」の提供。
- ・中国・韓国最大クラスW i - F i ルーターレンタル事業者グループとの連携（旅行関連サービス・メディアサービス）。
- ・海外の人気・ローカルレストランを日本語で簡単に予約ができるレストラン予約サービスを開始。
- ・世界最大級旅の祭典「ツーリズムE X P O J a p a n 2 0 1 7」へ出展。

「情報通信サービス事業」

当事業におきましては、主要ターゲットである新設法人・ベンチャー企業の獲得及びCRMによる継続取引の積み上げが引き続き好調に推移し、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,379百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益は886百万円（前年同期比10.1%増）となりました。当事業におきましては、企業の成長ステージにあわせて、その規模やニーズを踏まえた“ちょうどいい”サービスや製品を適切なタイミングで適正な価格で提供することで高い顧客満足度を獲得し、お客様と長期的に取引を続けることで、安定的な成長を実現しております。

これを支える仕組みは、『WEBマーケティング』×『営業』×『カスタマー・ロイヤリティ・チーム（CLT）』の3つを緊密に連携させた効率的な受注スキームにあります。当社の強みである『WEBマーケティング』は、受注に結びつきやすい顕在需要を効率的に拾い上げ、サービス提供の要である『CLT』は、既存のお客様とのコンタクトで見出した要望や課題を抽出しております。この2つのチャンネルで獲得した有望顧客やニーズに対して、『営業』の確かな提案力で受注率を高め、生産性の高い事業活動を行なっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は11,095百万円(前連結会計年度末比1,160百万円増)となりました。

流動資産は、8,772百万円(前連結会計年度末比642百万円増)となり、その主な要因は、現金及び預金が36百万円、受取手形及び売掛金が300百万円、商品が5百万円、それぞれ増加したことによるものです。

固定資産は、2,323百万円(前連結会計年度末比518百万円増)となり、その主な要因は、有形固定資産が124百万円、無形固定資産が154百万円、投資その他資産が238百万円、それぞれ増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,708百万円(前連結会計年度末比85百万円増)となりました。

流動負債は、2,705百万円(前連結会計年度末比105百万円増)となり、その主な要因は、支払手形及び買掛金が233百万円増加した一方で、未払法人税等が35百万円減少したことによるものです。

固定負債は、3百万円(前連結会計年度末比19百万円減)となり、その主な要因は、長期借入金が2百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は8,387百万円(前連結会計年度末比1,075百万円増)となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,039百万円計上したことから利益剰余金が増加したことに加え、繰延ヘッジ損益が3百万円、為替換算調整勘定が14百万円、それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年2月9日の「平成28年12月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,241,942	6,278,259
受取手形及び売掛金	1,228,860	1,529,088
商品	51,542	57,286
貯蔵品	31,385	18,730
その他	601,892	927,896
貸倒引当金	△25,827	△39,014
流動資産合計	8,129,795	8,772,247
固定資産		
有形固定資産	480,903	605,757
無形固定資産	423,154	577,854
投資その他の資産		
その他	916,914	1,159,843
貸倒引当金	△15,684	△19,863
投資その他の資産合計	901,229	1,139,980
固定資産合計	1,805,288	2,323,592
資産合計	9,935,083	11,095,839
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	608,174	841,658
1年内返済予定の長期借入金	10,200	4,950
未払法人税等	355,056	319,954
賞与引当金	166,578	162,669
短期解約返戻引当金	53,437	61,298
その他	1,406,659	1,314,802
流動負債合計	2,600,105	2,705,333
固定負債		
長期借入金	2,400	—
その他	20,564	3,324
固定負債合計	22,964	3,324
負債合計	2,623,069	2,708,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,337,064	2,347,376
資本剰余金	2,369,522	2,379,835
利益剰余金	2,578,828	3,618,001
自己株式	—	△1,721
株主資本合計	7,285,414	8,343,492
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	17,514	20,552
為替換算調整勘定	9,083	23,136
その他の包括利益累計額合計	26,598	43,689
純資産合計	7,312,013	8,387,181
負債純資産合計	9,935,083	11,095,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	11,035,820	13,177,751
売上原価	4,630,606	5,536,439
売上総利益	6,405,214	7,641,312
販売費及び一般管理費	5,329,791	6,102,049
営業利益	1,075,423	1,539,262
営業外収益		
受取利息	4,622	562
受取配当金	1,500	1,500
助成金収入	3,630	2,662
保険解約返戻金	27,132	—
その他	4,892	3,164
営業外収益合計	41,778	7,889
営業外費用		
支払利息	324	699
為替差損	14,862	4,420
解約違約金	1,660	1,350
デリバティブ評価損	54,017	—
その他	985	36
営業外費用合計	71,849	6,507
経常利益	1,045,351	1,540,644
特別損失		
固定資産除却損	2,357	242
投資有価証券評価損	—	4,874
特別損失合計	2,357	5,117
税金等調整前四半期純利益	1,042,994	1,535,527
法人税、住民税及び事業税	393,795	501,898
法人税等調整額	△34,719	△5,544
法人税等合計	359,076	496,353
四半期純利益	683,917	1,039,173
親会社株主に帰属する四半期純利益	683,917	1,039,173

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	683,917	1,039,173
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△47,034	3,037
為替換算調整勘定	△39,188	14,053
その他の包括利益合計	△86,223	17,090
四半期包括利益	597,694	1,056,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	597,694	1,056,264
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル W i F i 事業	情報通信 サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,808,466	5,217,487	11,025,954	9,865	11,035,820	—	11,035,820
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,808,466	5,217,487	11,025,954	9,865	11,035,820	—	11,035,820
セグメント利益 又は損失(△)	894,803	805,074	1,699,877	△36,543	1,663,333	△587,910	1,075,423

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カタログ販売事業、メディア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△587,910千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル W i F i 事業	情報通信 サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	7,755,496	5,379,175	13,134,671	43,079	13,177,751	—	13,177,751
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,755,496	5,379,175	13,134,671	43,079	13,177,751	—	13,177,751
セグメント利益 又は損失(△)	1,368,844	886,691	2,255,535	△70,506	2,185,028	△645,765	1,539,262

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カタログ販売事業、メディア事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△645,765千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。